

新年あけましておめでとうございます。

令和6年の幕開けは波乱に満ちたものとなりました。1日には能登半島地震が発生。また2日には日航機と能登半島地震対応で支援物資を搬送途中だった海上保安庁の航空機とが衝突するという未曾有の出来事が相次ぎました。まずはお亡くなりになられた皆さまやご家族、被災された皆さまに心から哀悼の意を表します。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、久方ぶりに家族で穏やかに過ごされていたであろう皆さまを襲った悲劇に言葉もありません。1995年1月17日の阪神・淡路大震災から29年、2011年3月11日の東日本大震災から13年経ちますが、この日を迎える度、私は平穏な日常の有難さや、家族との絆を再確認し、丁寧に生きることを誓います。しかし輪島の朝市を襲った炎や日航機を焦がす炎は、あの日を再び思い起こさせ、心はざわつくばかりです。

今年は旭学園にとって、大変重要な1年となります。武雄アジア大学の開学を2026年に控え、文部科学省への認可申請を10月に行います。佐賀県民、武雄市民の皆さまからのご期待に添うべく、粛々と準備を進めております。

改めて、自らが発する「丁寧に生きる」とはどのようなことなのかを問いながら、皆さまの安寧を祈り、日々を過ごしてまいりたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

2024年1月吉日

学校法人旭学園 理事長 内田信子